

2023 年春季語学留学/バリエドリ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業は、Lengua I、Lengua II、Cultura の3教科がありました。Lengua I と Lengua II では文法を学びましたが、コミュニケーションも多かったです。Cultura ではスペインの文化や歴史を学びました。

授業は既存のクラスに参加させてもらうという形でした。教室については、机はコの字型で置かれているため、クラスメイトの顔が見える体勢で受講するという形です。

関西外大の CIE の授業のような進め方でした。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

日本人が4人、韓国人が4人、コンゴ人が1人、ロシア人が1人、インド人が1人でした。

クラスメイトは韓国人が4人、ロシア人が2人、コンゴ共和国人が1人、インド人が1人、日本人が4人で、アジア人が多いという印象でした。

日本人は外大生を含めて4人、韓国人5人、コンゴ人1人、ドイツ人1人、インド人1人、ロシア人1人と多国籍なクラスでした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

授業中はみんな積極的に話していることが多かったです。分からないことがあれば、クラスメイトや先生が教えてくれました。

クラスの雰囲気はとても明るい印象です。日本人以外の学生はよく発言し、自分の言いたいことを、スペイン語が拙くても言います。私を含む日本人学生4人は、初め他学生の積極性に驚きましたがすぐについていくことができました。

先ほども書いたように CIE の授業のようなもので、発言は日本で行われた授業よりもしやすかったです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

スペインの文化や祭りが印象に残りました。

「あなたのクリスマスの過ごし方は？」という会話練習が一番印象に残っています。私のクラスメイトはカトリック(キリスト教の一種)が多いのに対して、日本人学生は全員無信仰でした。無信仰にも関わらず、クリスマスは祝う日本人のことが理解できないクラスメイトに「なんのために祝うのか?」「どんな気持ちで過ごすのか?」など質問攻めを受けました。

点過去、線過去、命令法などを習いました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からないところがあれば積極的に先生に質問をし、教えてもらった部分を全てメモしていました。

恥ずかしがらずに発言することを心がけました。先生にあてられた時だけ答えるのでは意味がありません、自分で積極的に参加することによって、すぐにスペイン語が瞬発的に出てくるようになりました。

知らない単語をメモしたり、わからないことを先生に質問しやすいように書き留めたりしました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		バス	30-45分
0人		徒歩	15-30分
0人		徒歩	15-30分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
机と椅子とベッドとタオルが用意されていました。	ティッシュ、ウェットティッシュ、洗面用具、タオル、スリッパ
ベッド、クローゼット、勉強机、タオル	ヘアアイロン、歯ブラシ、シャンプーリンス等
タンス、勉強机、ベッド	服、スリッパ、ヘアアイロン

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
日曜日はほとんど店が開いていなかったことに驚きました。
一番は食事の時間です。昼食の時間が大体 15:00 で、夕食は 22:00 くらいです。また、日曜にはほとんどの店が閉まっているというのも驚きでした。
子供がいるファミリーのところにホームステイしたのですが、基本的にその子供たちの生活時間に合わせるので、早朝や深夜に物音をたてないように気を付けていました。そのため、時間によってはドライヤーが使えなかったり、トイレを流してはいけないことがあったりしました。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
なるべく自分の意見を伝えるのが大切だと思います。
自分の部屋に籠らないことが大切です。ホストファミリーとの会話では学ぶことが多いので、できるだけリビングに行ってどンドン話すようにしましょう。
部屋や家具の使い方が分からなかったら直ぐにホストファミリーに質問することが一番早いです。また、スペインの方々は優しいので必ず教えてくれます。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	ワイヤレスで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
サラマンカとマドリードへの遠足がありました。	カフェ、スーパー
二回校外学習がありました。一回目はサラマンカへ、2 回目はマドリードへ行きました。	夕方はセントロにある様々なカフェへと行って行っていました。カフェで大学でできた友達とおしゃべりする時間がとても好きでした。
	学校内にカフェがあるので、20分休みに利用している人もいました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
会話表現を覚えたり、スペインの文化や歴史について少し勉強しました。
関西外大のスペイン語の授業で、話すトレーニングに力を入れていました。CIE プログラムを受講し、日常会話は難なくこなせるレベルまでは学習していました。
留学経験者の話を聞いて、持ち物を準備しました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
単語の勉強
単語をもっと 多く覚えていたら、話すのが楽だろうと思う場面は多かったです。
スピーキングの練習をしておけば良かったと思いました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
カイロ、日本のお菓子
カイロ・胃薬
スリッパ、ウエットティッシュ、箱ティッシュ、風邪薬、部屋着

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
タオル	特になし
ドライヤー（日本とは電圧が違い、私のドライヤーは変圧器を使っても動きませんでした。使えるものもあるので、持って行く際はきちんと調べていく必要があります。）	のど飴
ドライヤー、外着	インスタントの日本食

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限なし、現金4万円
現金、クレジットカード	現金 10 万円分、クレジット上限 50 万
クレジットカード 2 枚、現金	現金50ユーロとクレジットカードの上限をあげました。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
住居費は払っていません。食費は外食する時だけで3万円ほどでした。
自由時間で行ったカフェやレストラン、バルでの料金のみです。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
教科書が印刷されたものを渡されたので払っていません。通学費は35ユーロでした。
0 円

テキストは購入せず、先生がテキストを印刷したもの渡してくれました。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

15万ほど

電車や飛行機などを利用したので、月 10 万円くらい使用しました。

旅行に結構行ったので、トータルで20万円ほど使いました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

最初は全然分からなかったのですが、ある程度話せるようにはなりました。

語学力・コミュニケーション能力は成長しました。1 週間程で、自分の口からスペイン語が出てくるスピードが速くなっていると実感しました。

積極的に人と交流することができるようになり、言いたい単語がわからなくても言い換えすることで相手とコミュニケーションが取れるようになりました。

留学前の目標とその達成度

留学前よりも積極的に頑張れたので達成できたと思います。

スペインの様々な文化を知るとというのが目標は完璧に達成できたと思います。留学先のバジャドリだけでなく、他の州に旅行することによってその土地の文化、人々を知り学ぶことができました。

スペインの文化を知ることとその文化と日本の文化と比較することが出来ました。

留学を通しての成長ポイント

自分から意見を言えるようになったり、分からないことがあれば積極的に聞く力が付いたと思います。

コミュニケーション能力が成長したと言えます。授業は黙って座っているだけだと他の学生に圧倒されるので、私も積極的に発言するようになっていました。すると授業中だけでなく、普段の会話でもどんどん自分から話題を振るなどできるようになりました。

言わなくても伝わるという考え方を捨て、自分から積極的に発言する力が身に付きました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前はある程度話せると思っていたのですが、実際は全然分かりませんでした。ですが、このままではダメだと思い、留学中は必死に勉強を頑張りました。帰国後は留学前に比べて自分のスペイン語が上達したと実感しているので、このままスペイン語を頑張りたいと思っています。

留学を終えて、スペイン語力をさらに強化したいと思いました。文法の学習は関西外大のスペイン語の授業で徹底したので問題ありませんでしたが、語彙力にかけると感じる場面がありました。

留学する前は、どうしても文法が気になって、しゃべりだしにくいですが、留学中や留学後は文法よりもどんどん話すことの大切さが身に染みて分かるようになりました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

現地の人に道を尋ねた時

バスの乗り場が地図で見ても分からなかった時。

留学先大学の良かった点

先生やクラスメイトがみんな優しくかったところ。

留学先のバジャドリ大学は、先生の学生に対するサポートが手厚かったことがよかった点です。「スペイン人の友達を作りたい」と先生に相談すると、次の日には日本に興味があるスペイン人を紹介して下さったり、私たちが参加できるイベントを教えてくださいました。

どの先生も親身になって話を聞いてくれました。